



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第11巻
第6号) 編集後記・購読要項・投稿
内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第11巻第6号) 編集後記・購読要項・投稿内
規. 泌尿器科紀要 1965, 11(6): 546-546

ISSUE DATE:

1965-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112756>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要

第 11 巻 第 6 号

昭和 40 年 6 月

随想 腎盂腎炎偶感	岩田 正三	433
ヒト辜丸温度の研究	北山 太一	435
雄性副性器分泌液に関する研究		
I 犬前立腺分泌液の実験的研究(正常犬、並びに性ホルモンによる影響)	田辺 泰民	466
II 犬前立腺分泌液の実験的研究(下垂体、副腎皮質ホルモンによる影響)	田辺 泰民	478
岐阜医大泌尿器科教室における1963年度の臨床統計的観察		
後藤 薫・篠田 孝・尾関 信彦・伊藤 鉦二		
足立 一郎・磯貝 和俊・木村泰治郎・西 守哉		493
巨大前立腺結石症の1例	田辺 泰民・田中 広見・溝口 勝・大山 典男	501
原発性女子尿道腺癌の1例	吉田 修・清水 幸夫・小松 洋輔	505
高血圧症を呈した腎動脈 Cirroid Angioma	国島起嗣夫・網野 勇・折笠 精一	510
後腹膜奇形腫の1例	紺屋 博暉・三瀬 徹	516
尿路感染症に対する Urobiotic の臨床効果	大堀 勉・小柴 健・神崎 政裕	521
後藤 康文・村本 俊一		
泌尿器科手術前後に於ける Maniton S の使用経験	仁平 寛己・名和田素平・久世 益治・柏木 崇	525
P-741 (Bromelain) の泌尿器科領域における応用と血液凝固機転に		
及ぼす影響についての2, 3の検討	稲田 務・桐山 奮夫	532
編集後記・購読要項・投稿内規		546
Study on Testicular Temperature in Men.	T. Kitayama	435
Studies on Male Adnexal Fluid.		
I. Experimental Studies on Dog Prostatic Fluid (Normal Dogs and Effect of Sexual Hormones).	Y. Tanabe	466
Studies on Male Adnexal Fluid.		
II. Experimental Studies on Dog Prostatic Gland (Effects of Pituitary, Adrenal and other Hormones).	Y. Tanabe	478
Clinical Statistics on Patients, Operations and Main Urological Examinations in the Department of Urology, Gifu Prefectural Medical School, 1963.		
K. Gotoh, T. Shinoda, N. Ozeki, S. Itoh.		
I. Adachi, K. Isogai, T. Kimura and M. Nishi		493
A Case of Giant Prostatic Calculus.	Y. Tanabe, H. Tanaka, M. Mizoguchi and N. Oyama	501
Primary Adenocarcinoma of the Female Urethra: Report of a Case.		
O. Yoshida, Y. Shimizu and Y. Komatsu		505
Cirroid Angioma of Renal Artery with Arterial Hypertension:		
Report of a Case.	K. Kunishima, I. Amino and S. Orikasa	510
Retroperitoneal Teratoma: Report of a Case.	H. Konya and T. Misse	516
Clinical Effect of "Uroiltic" for the Treatment of Urinary Tract Infections.		
T. Ohori, K. Koshiba, M. Kanzaki, Y. Goto		
and T. Muramoto		521
Use of "Maniton S" as a Diuretic during Pre- and Postoperative Courses.		
H. Nihira, M. Nawata, M. Kuze and T. Kashiwagi		525
Urological Evaluation of "Bromelain" and Clinical Studies on its Influences for Blood Coagulation.	T. Inada and T. Kiriya	532

編集後記

社会保険ノ事ニ就テハ 大学ノ先生ハ以前ニハ殆ド関心ガナカツタガ イツ頃カラカ相当ニ注目スルヨウニナリ 数年前 例エバ3年前ニ大阪デ日本医学会ガ行ワレタ時ニハ ソノタメノ会議ガ開カレ 熱心ニ論議セラレタ程デアル。トコロガ 近頃ハ再ビ無関心ノ状態ニ後戻リシタ様ニ見エル。ソノ理由ヲ考エテ見ルト 社会保険ノ事ニ就テ大学先生ガ意見ヲ述ベテミタトコロデ結局 無駄ダト諦メルヨウニナツタノデハナカロウカ。大学先生ハ コノヨウナ制度ヲ変革スルニハ力ヲ持ツテイナイ カヲ持ツテイルノハ 大蔵省 厚生省 国会議員 労組 保険者等デアル ソレガ実力 或ハ政治力ニヨツテ最後ノトコロヲ決メテシマウ 医師会モ無力ダ 大学先生等ノ議論ハ雲散霧消スル バカラシクテ 論議スル気ニモナラヌト云ウ事ニナルノデハナイカ。コレハ社会保険ノ問題ニ限ラズ 広ク医療制度デモ医療費デモ同ジ事ダ。医療制度トシテノ社会保険ニドレダケ不都合ナ事ガ含マレテイルカラ 日本ノ医学者達ガ口ヲ酸クシテ述ベテモ カヲ持ツテイル連中ニハ馬耳東風デアル。ソノ医療費ガ イカニ低イカラ叫ンデモ 何ノ効果モナイ。ソコデ大学先生ハ制度ニ就テモ医療費ニ就テモ沈黙シテシマウ

医療費ノ8~9.5% 値上ゲニモ大キナ抵抗ガアル。厚生大臣ノ職権告示ニ対シテ 支払者側ハ猛烈ニ反対シ 訴訟ヲ起コス。裁判官ハ 厚生大臣ノ告示ハ職権違反デ 無効デアルト判決ヲ下ダス。コレニ対シテ政府モ政府与党モ 裁判所ガ ケシカラヌト云ウ カクナレバ大学先生等ハ影モ形モナイ。アキレテ見テイルバカリデアル。ヤハリ医療制度ヤ医療費ノ事ハ他人ニ委セテ自分等ハ研究 教育 診療ニ閉ジコモル事ニナル。然シ本当ハ コレヲノ事柄ハ 医療制度ヤ医療費ト大キクツナガツテイルノデアル。

インターン制度デモ大体ニ同ジデアル。大学先生 インターン生 学生等ガ懸命ニナツテイルガ 実際ニハ厚生省 大蔵省 一部ノ国会議員 実情ヲ知ラヌ世論等ガ方向ヲ決メテシマウノデアル。

コノヨウニ 大学先生ハ医療制度 医療費 インターン制等ニ就テ熱意ヲ失イツツアル。無理モナイガ 本当ハ極メテ重要ナ事柄デアル。我不関デスマンシテイヨイカ。ソウモユカス。シレンマ ニ陥ラザルヲ得ナイ(昭和40年6月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200円を前納する。1冊料金 120円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名: 誌名、巻数: 頁数、年次。
例。中野: 泌尿紀要, 1: 110, 昭30. Lazarus, J. A. : J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。